

本覚寺々報

第 30 号
—発行日—
平成31年2月5日

安
an non
穩

巻頭言

住職 波多野 真公

昨年は国の内外において大きな地震や台風、集中豪雨など、大きな自然災害が多発し多くの方が命を落とされました。被災されたすべての方々に心よりお見舞い申し上げます。

福井県では特に雪の被害がひどく全国版のニュースに出ていました。しかしながら夏のひどい暑さと秋の台風が終わると雪の話はすっかり忘れてしまっていました。喉元過ぎれば...

ある日、北海道胆振東部地震の報道をテレビで見ていた時にあるおばあさんがインタビューで「余震が怖くて夜も眠れん」と言う事を言っていました。なるほど、眠れない夜。それはとっても孤独な時間です。であるからこそ、色んな、本当に色々な事が頭をよぎるのです。

親鸞聖人の書かれた書物の正像末和讃に

「無明長夜の灯炬なり
智眼くらしとかなしむな

生死大海の船筏なり

罪障おもしとなげかざれ」

とあります。昔、本覚寺でお配りしていたマッチにも書かれていたので御記憶の方もいらっしゃるでしょう。

親鸞聖人は、この和讃で阿弥陀さまの必ず救うと誓われたご本願を、絶えることのない大きな灯火にたとえられています。夜の闇の中にある大いなる灯火のように、迷いながらの人生にもこの私を照らす光があり、迷いを打ち破る眼（まなこ）がないからといって悲しむことはない、とお示しになられています。それは、ほかならぬ阿弥陀さまがおられるからです。その人生において眠れない夜がきたら、しばし心をしずめて声に出してお念仏申してみたらどうでしょう。



平成三十年 七月豪雨災害

各地に被害

西日本を中心に広い範囲にわたって土砂災害や河川の氾濫、浸水など

甚大な被害をもたらした「平成三十年七月豪雨」。浄土真宗の寺院や門信徒も大きな被害を受けました。被害内容としては、

寺院被害（128ヶ寺）、
門信徒被害（321ヶ寺）、
僧侶・門信徒死亡（67名）、
安否不明（3名）、

家屋全壊、半壊（122棟）、
床上、床下浸水（2, 375棟）
宗派は各教区と連動しながら支援活動や災害義援金の募集などを行っ



支援物資搬入の様子
(京都・西本願寺)

てきました。

全国から門信徒の方々が被災地へボランティア活動に、また本山からは特に甚大な被害のあった教区へ、飲料水やタオル、発電機などの救援物資を送るなどの活動を実施。

当山、本覚寺でも「浄土真宗本願寺派たすけあい運動基金」として募

振替払込請求書兼受領証

口座番号	010004
金額	69957
振替人	たすけあい基金
金額	30000
振替人	本覚寺
振替日	30-09-07
振替所	福井南郵便局
振替金	130
備考	(33232) R94160005

金を開始して、皆さまの有り難い、温かいお気持ちを平成三十年九月七日に御本山にお送り致しました。ご協力いただき、本当にありがとうございます。

昨今、豪雨・台風・地震・大雪と自然災害が続いております。遠くの事と思わずに自分が備えておく事、家族や近くの方々と話し合っておく事など、毎日を大切に過ごしていきたいものがございます。

「花蓮の会」

四月七日

お寺の境内にある、蓮の植え替えが行われ、十数名の方々が手伝いに来ていただきました。ご協力ありがとうございました。

今回の作業は例年とは少し異なり、昨年二月の福井豪雪によって、花蓮の鉢の上に、屋根雪が積もりに積もってしまい、鉢が二十個ほど壊れてしまいました。その入れ替え作業もあり、少し手間がかかりましたが、初めて蓮の入れ替え作業に参加していただけた方などおり、今年も無事、綺麗な蓮の花を見ることができました。



今年の植え替えは四月六日朝九時と予定しております。お手伝いいただける方は、当日時間までにお越しください。その際、運搬用一輪車、台車等お貸しいただけると作業もはかどり助かります。軍手、長靴もご用意下さい。

作業後には、満開の桜の下にて簡単な食事を準備しておりますので、皆さんご参加ください。

「初参式」

六月十七日

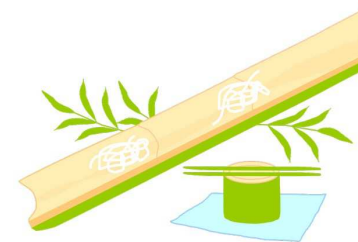
第二十二回、初参式が行われました。赤ちゃんが生まれて、初めてお寺にお参りする大切な儀式を初参式といえます。初参式は、親子・家族そろっての最初の仏縁。いのちの誕生を仏さまに報告します。新しい、いのちの歩みを初参式から始めましょう。今回は四人の元気な赤ちゃんがお参りに下さいました。

野岡 高橋 茉帆ちゃん
大和田 舟木 結乃ちゃん
北野津又 荒谷 柚那ちゃん
上浄法寺 天谷 慶吾くん



納涼法話会 流しそうめん

昨年の「納涼法話会・流しそうめん」は、生憎の雨模様で、時折ゲリラ豪雨に見舞われ、参加者も例年より少ないように感じました。それでも、子どもたちはゲリラ豪雨にすら大はしゃぎで、周りの大人たちも思わず笑みがこぼれていました。



毎年、この流しそうめんのレインや雨よけのシートなどの設置をしてくださる仏教壮年会の方々には頭が下がります。本当にありがとうございます。

そして、今回の法話会の御講師は、永平寺町松岡・慶崇寺の堅達俊英先生を迎えて行われました。とても真面目な方で、話の一つ一つを丁寧に的確に話されていたので、分かり易かったと皆さんに評判でした。

今年も八月十六日に開催されますので、どうぞご家族と一緒にお願いします。

懇親ゴルフコンペ

六月には大コンペ二十四名、十一月には小コンペ十名のご参加でした。優勝は大コンペは松本の中本英雄様。小コンペは上北野の富田竹典様。プレーの後は本堂での讃仏偈の大合唱、表彰式・懇親会では御前や若様、稚様に加わり、立場や世代を超えて楽しんでおります。

今までお寺とは縁遠かった方たちのご参加も年々増えてきており大変盛り上がりっております。

お念仏で繋がるご縁は温かいものがございますね。

本年も六月頃に計画しております。興味のある方は是非お申込みください。

担当 宮口



当山ホームページのURLが変わりました。

<http://hongakuji.gionsyouja.com/>

年中行事や宝法物など掲載しております

是非一度ご覧ください。

仏教壮年会

昨年も、様々な法要や行事のお手伝いサポートをしていただき誠にありがとうございました。寺務所一同、心から感謝しております。入会希望の方は寺務所（道場）、又は各支部長までご連絡ください。

主な活動内容

本覚寺年中行事の協賛。

本山・教区・組の行事参加。

（連研、研修会、聞法のつどい等）

ゴルフ大会。納涼法話会・流しそ
うめん。

その他、例会・新年会・懇親会・

聖地参拝 等 レクリエーションも

たくさん…

仏教婦人会

いつも婦人会の方々にはお世話になっております。中でも永代経・報恩講法要のときは朝早くから、お斎の準備に来て下さり、毎回美味しい食事をありがとうございます。ご門徒のみなさま、そして寺務所一同、心から感謝しております。

主な活動内容

本覚寺年中行事の協賛。

花まつり、降誕会、永代経、

法話会、報恩講 等

教区・組行事参加

別院清掃奉仕、

みのりのつどい、茶席 等

永平寺町内の方を中心に活動しております。

新門徒総代の就任

この度、門徒総代として新に今宮忠夫氏（鯖江市乙坂今北町）にご就任いただきましたので、よろしくお願い致します。



御前からの委嘱に「お寺の為に私にお手伝い出来ることがあるのなら、喜んでお引き受けさせていただきます。」とおっしゃってくださいました。

寺だより

あるヤンキーが死んだ。私が学生の時だ。京都の碁盤の目から外れたその土地は古の頃なら狐狸が跋扈する怪しみの原だったろう。現代では造成されコンクリートで固められた住宅地になっていた。その中にまるで時代から取り残されたような、裸電球のぶら下がった木造のあばら家が所々にあった（それが中世代定められた悪しき制度の名残と知るのは後の事だった）下宿の近く通学路の脇に小さな雑木林があった。こんもり茂った木々の間に池とも沼ともつかぬ水溜りがあり、陽も差さないそこには長年堆積した落ち葉や投棄自転車が手つかずのまま放置されていた。よく見ると沼の縁に建物？らしきものがあり出窓？が張り出している。その下に沼から何本か角材が伸びていて突っかえ棒のような役割をしている。立腐れのその建物がいつ倒壊するのか、荒れた日の翌朝は横目で確認しながら通りすぎたものだ。ある夜、下宿の近くで救急車のサイレンがけたたましく鳴った。翌朝学校に行くことと近所のヤンキーがバイクごと川に突っ込んで死んだと誰かが噂していた。

数日後の学校帰り、住宅地の狭い路地を曲がると道の両側にヤンキーの集団が座り込んでいた。突然の異質な光景に怯んだがここを通らなければ帰れない。まさか通りすがりの学生に絡んでくることもあるまいと、内心びくびくしながら通り過ぎようとしたその時。雑木林にさしかかる手前に狭いくぐり戸らしきものがあり、そこに提灯がぶら下がっていた。ヤンキーの葬式だ！私は仰天した。なにより驚いたのはあの立腐れと思っていた建物に人が住んでいたことだった。くぐり戸のすぐ隣には普通の家屋がどんと構えている。沼地にへばりつくように存在するその建物はどれほどの広さがあるのか。僧侶と遺族でいっぱいであろう小さな部屋におそらく入ることもできない仲間たちが、死んだ友人を弔いに集まったのだらう。あの陽も差さぬ部屋の窓から外を眺め、彼は日々何を思っていたのだらう。会ったこともないヤンキーの短い人生を思い、私は心の中でそっと手を合わせた。葬儀を自宅を出していた時代。いまでも時々思い出す。あの時のヤンキーたちは今はどうしているんだらう。

「聖地参拝」

親鸞聖人のご生涯を書き著した『御伝鈔』には、

「〔中略〕真宗興隆の大祖源空法師ならびに門徒数輩、罪科を考へず、みだりがはしく死罪に坐す。あるいは僧の儀を改め姓名を賜ひて遠流に処す。予はその一つなり。しかれば、すでに僧にあらず俗にあらす。このゆゑに禿の字をもつて姓とす。空師（源空）ならびに弟子等、諸方の辺州に坐して五年の居諸を経たり」と云々。空聖人（親鸞）罪名藤井元彦、配所土佐国幡多鸞聖人（親鸞）罪名藤井善信、配所越後国府このほか門徒、死罪流罪みなこれを略す。』

とあるように、念仏停止の法難によって越後に流罪となった親鸞聖人の御旧跡を参拝しました。



新潟県上越市柿崎には、当寺と親類にあたる浄福寺へ。

本堂は歌舞伎座がモデルとなっており、開基善順は俗姓を井上忠長と称し、かつて鎌倉の扇ヶ谷に居住していた源氏の武将が、鎌倉兵乱の際に没落し、武名を隠して、柿崎で「扇屋」と名乗っていた。宝物に川越の御名号などがある。

また親鸞聖人によって創設されたという浄興寺は、越後での新たな布教の場となり、現在は本堂が国の重要文化財に指定され、境内には聖人の御頂骨が納められた御本廟がある。



上越市板倉にはゑしんの里記念館へ。聖人の妻恵信尼が過ごされたといわれており、施設内には「恵信尼像」龍谷大学大宮図書館所蔵、恵信尼の末娘「覚信尼像」地元板倉の福因寺に残された絵像、西本願寺蔵「恵信尼文書」

親鸞聖人や恵信尼の生涯を知る歴史的な史料として貴重なものがあり、手紙の複製と原文、現代語訳を比較しながら、内容が理解できるように展示されている。また同じく西本願寺蔵の親鸞書状類「今御前の母宛て」・「私たちの人々宛て」や、末娘の覚信尼筆「覚信尼讓状」、加えて高田専修寺蔵の「善鸞義絶状」などが展示されており、これらは初めて複製許可されたもので、通常は一般公開されていない。

二日目は越後国府へ御流罪となつた親鸞聖人が、まずはじめに訪れたといわれる越後一宮・居多神社。ここで聖人は、一日も早い赦免を祈願し「すゑ遠く法を守らせ居多の神 弥陀と衆生の あらん限りは」と詠み、神前に供えた。すると、境内の葦が一夜にしてすべて片葉になったといわれている。この片葉の葦は「親鸞聖人越後七不思議」の一つに数えられている。そして聖人上陸の地といわれ



る居多ヶ浜では、大海原の中に聖人が御流罪となってこの地に上陸されたお姿を想像してなんとも感慨深いものがあり、このご苦勞を偲ばずにはいられなかった。

（道場記）

去る六月二十五日・二十六日「聖地参拝親鸞聖人ゆかりの地めぐり」に参加させていただきました。

聖人ゆかりの数々の寺院や旧跡、逸話を見たり聞いたりするたびに聖人のご遺徳に敬愛してやまない気持ちで一杯になりました。

特に越後ご流罪となられ、たどり着かれた「居多ヶ浜」を見学した時は心から合掌をしました。

ご聖人はここを上陸され様々な活動

動をされてあらゆる人々から敬愛されたのですね。

私はこの旅を機会に宗祖親鸞聖人がより身近に親しみを感じるようになりまし。素晴らしい聖人のゆかりの地めぐりをありがとうございました。

水上 清雄

仏事のQ&A

過去帳ってなに？

過去帳とは、その家々の故人の名前（俗名）、法名、没年月日、死亡年齢などを記した、各家庭に伝わる帳面のようなものです。簡単に言えば家系図のようなものです。浄土真宗では位牌を用いず、過去帳を用いるように進めています。

昔からお家にあるご先祖の位牌が多くなりすぎて、ご先祖の名前や命日を誰も知らないといった家庭もたまに拝見いたします。そうなれば、年忌も気づいたころには終わっ



過去帳

ていたなんてこともあります。一度、お仏壇の中の位牌入れを確認して、その際に過去帳を購入してまとめてみるのも良いでしょう。

法事は遅れたらいけないの？

結論からいうと「命日が一番いい」そして、「遅れるより早い方がいい」ただし「遅れたからといって別に構わない」ということになります。

ご門徒の方からよく、命日や四十九日の法事は遅れたら悪いのでしょうか？と聞かれることがあります。遅れても問題はありません。私の命は「今日とも知らず、明日とも知らず、おくれさきだつひとは

もとのしづくすゑの露よりもしげし」というように、明日も自分が生きて

いるという保証はありません。それならば、早く聞法のご縁に遇っておかなければ後生の一大事の解決ができませんということ、どちらかといえば遅れるよりも早い方がいい」ということになります。

法要は、亡くなった方も私も、子やお孫さんたちも共に救われる真実の教え、仏法を聞くせっかくの仏縁です。大切にいたしましょう。

毎日のお勤めは何をあげれば良いの？

真宗門徒は、親鸞聖人がお作りになった「正信偈」を朝夕お勤めするようにと蓮如上人は制定されております。

本願寺で「正信偈和讃」をお勤めするようになったのは、第八代宗主蓮如上人が越前の吉崎（現・福井県あわら市吉崎）におられた文明五年からです。

それまでの本願寺では、善導大師の『六時礼讃』を日常のお勤めとして用いていました。それを蓮如上人が改められ、親鸞聖人の「正信偈」

『岩佐れい子氏』

より日本画の寄贈

昨年ご主人を亡くされました。『生前、主人が大好きだった絵を側に置かせてほしい』とのことで日本画をご寄贈下さいました。

本堂、納骨堂への出入口正面に飾りしてあります。

「流麗」



と「三帖和讃」とを合わせて木版で印刷・出版し、僧侶・門徒がともに朝夕に行う日常のお勤めとして制定されたのです。これが現在まで続く「正信偈和讃」のお勤めのはじまりです。

時間があまり無い方には、「讃仏偈」や「重誓偈」といった少し短めのお勤めをおすすめます。

本覚寺 news

【車いす対応トイレ】新設しました！



少しでも多くの方にお参りに来ていただけたらという想いから車いすが入れる広いスペースのお手洗いを本堂近くの廊下に新設いたしました。男女兼用で、どなたでもお使いになれます。是非ご利用ください。

法名は生きているうちに。 御本山で帰敬式を受けよう！

実は帰敬式(ききようしき)を受ければ、生きているうちに法名がもらえて、ご存知でしたか？京都の西本願寺では、ほぼ毎日帰敬式が行われています。

帰敬式とは？

帰敬式とは、阿弥陀如来・親鸞聖人の御前で浄土真宗の門徒としての自覚をあらたにし、お念仏申す日暮を送ることを誓う、私たちにとって最も大切な儀式です。この帰敬式を受式され、仏弟子となった方には本願寺住職(ご門主さま)より法名が授与されます。

法名は亡くなってからつけてもらう名前なんじゃないの？

帰敬式を受式されていない方が亡くなった場合は、葬儀の際に一般寺院等の住職がご門主さまに代わって帰敬式を行い、法名をいただくことができます。

法名は浄土真宗の門徒としての自覚を持って生きる証しの名前なので、生きている間に頂くべきものなのです。

帰敬式が行われる日時

京都の西本願寺にて午前と、午後の二回行われます。朝の勤行続いての回と、午後一時三十分の回があります。



法名に自分の好きな文字を入れられます

内願(ないがん)といって事前に申請する必要がありますが、受式希望日の二か月前までに申し込めば希望する文字をいれて頂くことができます。自分の名前から一文字入れる方が多いそうですが、名前とゆかりのない文字を入れることも可能です。

御本山(西本願寺)「念仏奉仕団」に参加しませんか

念仏奉仕団とは

本願寺の清掃奉仕を通して、愛山護法の念を深め、親鸞聖人のみ教えに学ぶとともに、仏恩報謝の生活にいとしみ、真の念仏者としての自覚と意識を高める機縁とすることを目的として実施されています。普段は入れない場所などの清掃や、ご門主との記念撮影、お茶席の接待などもあります。

希望者は、西本願寺にて朝のお勤め(御晨朝)後に、**おかみそり(帰敬式)**を受式できます。

●日程 2019年5月9日(木)～5月10日(金) 一泊二日 ●定員 30名

●費用 お一人様 20,000～30,000円(予定) ●宿泊先 聞法会館 ●締め切り 3月末

※おかみそり(帰敬式)を受けられる方は別途冥加金【10,000円】がかかります。

※詳しい行程など詳細が決まり次第ご案内致しますが、人数把握の為、参加希望の方は申し込みをお願い致します。

お問合せ 寺務所 TEL0776-63-2055 担当 攝受

※キリトリ線※

念仏奉仕団 参加申込書

氏名	年齢	性別	住所	電話番号	生年月日

平成三十一年 年回法要表

一	周忌	平成三十年歿
三	回忌	平成二十九年歿
七	回忌	平成二十五年歿
十三	回忌	平成十九年歿
十七	回忌	平成十五年歿
※二十三	回忌	平成九年歿
※二十五	回忌	平成七年歿
※二十七	回忌	平成五年歿
三十三	回忌	昭和六十二年歿
五十	回忌	昭和四十五年歿

※印は地区によって

されないところもあります



平成三十一年度の年回法要表です。
お仏壇の過去帳・お位牌で、ご確認下さい。

亡き人を偲びつつ、この私が仏法を聞く行事。これが法事です。皆様でお参りしましょう。

『会うは別れの始め』

三月、四月は歓送迎会のシーズンです。卒業、入学、退社、入社、転勤、退任、就任など、年度がわりのために人の往来が多く、別れや出会いの季節ですね。

『会うは別れの始め』

このことわざは中国の白居易の詩文集「白氏文集」にある「合者離之始」を口語訳したのですが、その思想の源は仏教です。

「遺教経」に「世皆常なく、会えばかならず離ることあり」とあるのははじめ、いろいろな仏典に「会者定離」が説かれ、人生無常を示しています。

「平家物語」は「生者必滅、会者定離はうき世の習にて候也」といいます。

四苦八苦の中に、「愛別離苦」があります。

この世では、愛するものといずれは離別するという苦しみがあり、会った人とはいつかはかならず別れ去るという苦しみがある、という意味の言葉です。

「会うは別れの始めとは知らぬ私じゃないけど」という歌があります

た。

「はじめより、あふはわかれと聞きながら、暁知らで人を恋ひける」と、藤原定家は詠います。

「会者定離」という厳然たる真理と、「いつまでも別れたくない」という願いとの間にある矛盾が、「愛別離苦」という苦悩を生み出すのです。

「俱会一処」という言葉が、「仏説阿弥陀経」にあります。同じ信心に生きた人びとは、みなお浄土という一処において、あいまみえることができる、という意味だと教えていただきました。

とても暖かく、心安らかな世界が開けるのですね。

（『仏教名言ノート』より転載）

「念仏は私の心を照らし出す鏡」

笑顔で鏡を覗いたら 鏡の顔も笑ってた
怒って鏡を覗いたら 鏡の顔も怒ってた
人間も鏡のようなもの
自分が笑って向かうなら 相手も笑ってこたえよう
自分が怒って向かうなら 相手も怒ってこたえよう
「当たり前なことだ」とは実行していることだ

平成 31 年 本覚寺行事予定

◆修正会	一月一日	
◇御年頭	一月一日・二日	流杯の儀
◆御正忌	一月十五日 午後二時	
◇門徒大会	二月五日 午前十時	
◆仏壮・仏婦合同報恩講	三月三日	物故者法要・総会・そば会
◇勝山支坊太子講	三月三十一日	
◆花蓮の会	四月六日 午前八時	花蓮植え替え
◇花まつり	四月七日 午後一時半	保育園児・幼稚園児・小学生、参加自由
◆念仏奉仕団	五月九日・十日	別途ご案内
◇懇親ゴルフコンペ	六月中	参加希望の方 ご連絡ください
◆降誕会・初参式	六月十五日 午後一時	別途申込
◇勝山支坊永代経	六月三十日	
◆清掃奉仕	永代経前	仏婦
◇掛所盆参り	七月十四日	午後六時より読経
◆永代経	七月十五日・十六日	開闢法要
◇納涼法話会	八月十六日 午後四時	別途ご案内
◆清掃奉仕	報恩講前	仏婦
◇報恩講	十月四日・五日・六日	
◆勝山支坊報恩講	十月二十一日	
◇除夜会	十二月三十一日	午後十一時四十分頃

【感謝録】

(敬称略)

寄贈

御幸 岩佐 れい子 (絵画)
光明寺 齊川 嘉長 (蠟燭)

お供え(米・野菜・果物・菓子等)

発坂 島田 正雄
笹尾 山本 清勝
新在家 水上 清雄
山室 井上 博民
東古市 酒井 義明
東古市 青木 喜代美
上浄法寺 天谷 元信
諏訪間 竹澤 義明
大月 清水 勲
東二ツ屋 野澤 雄一
鯖江 與佐岡 賢治
北四ツ居 塚谷 徹雄
猪野口 冨山 信勝
上北野 冨田 幸二
春江 朝田 勇次
宝永 長谷川 光宏
横垣 中出 光治
小塩辻 鹿野 啓信
阿難祖 前田 清治

ご奉仕
永代経、報恩講前清掃奉仕
仏教婦人会
除夜会手伝い
仏教壮年会有志
帳場その他お手伝い
仏教壮年会、仏教婦人会

おみがき

永代経前 大和田御同行
報恩講前 松岡小畑御同行
年末 松岡末政御同行

厚く御礼申し上げます。

ありがとうございました。

編集後記

今年の除夜の鐘は雪もなく、そこまで寒くもなく、天候に恵まれたためか参拝者の数もいつもより五十名ほど多く、はじめて鐘を撞きに来た方も何名かおられたようです。お寺に来られたら先ず本堂の阿弥陀様にご挨拶しましょう。楽しい気持ちでお参りなさってくださいね。

【撮受】

ここに第三十号をお届けします。

皆様方の寺報原稿をお待ちしております。写真や絵、俳句などでも結構です。どうぞご投稿下さい。

発行所 浄土真宗本願寺派

和田山 本覚寺